

平成30年度「ほっかいどう未来チャレンジ応援会議文化芸術部会」  
議事概要

- |       |  |  |
|-------|--|--|
| 1 日 時 | 平成30年4月17日(火) 10:00~10:40  |  |
| 2 場 所 | 道庁本庁舎地下1階 総合政策部会議室   |  |
| 3 出席者 | 北海道文化財団<br>北海道文化団体協議会<br>札幌市芸術文化財団<br>北海道大学<br>北海道環境生活部文化振興課<br>北海道総合政策部政策局総合教育推進室<br>" "<br>" "<br>" "<br>" " | 事務局長 田尻 忠三<br>事務局長 若狭 弘樹<br>課 長 二宮 恭子<br>教 授 宇田川 耕一<br>課 長 高見 芳彦<br>室 長 篠原 結城子<br>参 事 丹尾 結子<br>主 幹 永田 浩幸<br>主 査 原田 吉信<br>主 事 新原 達也 |

4 議事概要

- ・事務局から資料に基づき説明。
- ・以下、質疑

○委員

- ・昨年度は文化芸術コースへの応募が少ない状況だったが、何がネックであるかを分析する必要があるのではないか。応募人数が少ないと、篩にかけることもできない。

○事務局

- ・応募者が社会人であるため、仕事との兼ね合いがある。また、音楽関係については、2、3年の修行期間が必要であるとの声がある。
- ・関係団体に広く周知はしているが、そこから、海外留学を検討している人まで、情報が届いていない恐れがある。来年、再来年は、周知活動を工夫しなければならないと考えている。
- ・制度上、出発開始時期が夏～年度末までという制約がある。問合せを頂いた中では、出発時期のタイミングが合わないというケースもあった。

○委員

- ・音楽系だと、数ヶ月の海外活動では不十分ということなのか。

○委員

- ・そうでもない。人によって、数年であったり、数ヶ月であったりする。

○委員

- ・助成費以外の自己負担は大きいのか。

○事務局

- ・滞在費12～16万円、往復渡航費10万円～20万円、授業料上限30万円まで支給される。

○委員

- ・支援内容は変わっているのか？

- 事務局
  - ・変更は無い
  - ・帰国後3年間は北海道に居住しなければならないという要件があるので、その点に制約を感じている方もいると思われる。
- 委員
  - ・昨年度選定された人が、今年度も連続して申し込むことはできるのか。
- 事務局
  - ・1年限りという制約があるので、連続して応募することはできない。
- 委員
  - ・奨学金に関する他の制度と本制度を併用することはできないのか。
- 事務局
  - ・要項上できない。3年経過した時点で制度見直しを想定しているので、それに向けて何がネックになるのか、ご意見を頂戴することとしたい。
- 委員
  - ・評価方法は、相対評価ではなく、絶対評価という事で良いか。
- 事務局
  - ・絶対評価でよい。海外に送り出したい人を高く評価して頂きたい。
- 委員
  - ・極端な話、対象者無しもあり得るか。
- 事務局
  - ・あり得る。その場合は、次年度以降に基金を繰り越して使用することになる。
- 委員
  - ・募集要項はHPでダウンロードできるのか。
- 事務局
  - ・募集要項は、早い段階から案をHPに載せており、現在は案のとれた正式なものを載せている。また、選考日程もHPに掲載している。
  - ・学生留学コースについては大学で説明会を実施している。次年度の募集に向けて、文化芸術コースは、関連する学部がある大学についても、大学からの要請あれば説明会を行いたい。ただ、文化芸術コースの留学経験者が少ない状況であるため、事務局の職員が説明することになる。
- 委員
  - ・是非行って頂きたい。
- 委員
  - ・応募が無かった場合、審査会はどうなるのか。
- 事務局
  - ・4/27の締め切り後、審査会をしない旨、ご連絡させて頂く。
- 委員
  - ・北海道文化団体協議会から、会員の名簿を提供させて頂いているが、そちらへの周知は如何。
- 事務局
  - ・名簿に掲載のあった団体等に、ポスターとリーフレットを送付し、案内をしているところ。問合せも複数いただいているが、応募に結びつきそうなのは、2件のみ。